

高等学校 令和5年度（1学年） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（『歴史総合』（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料など様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したるする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州で成立した主権国家体制を理解する。 ・15～16世紀にかけての欧州人による航海と探検についてまとめる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教改革と欧州人の海外進出について考察する。 ・欧州人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響を考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州における中央集権的な国家体制の成立と海外進出の結びつきを追求する。 ・「大航海時代」の結果として進んだ「世界の一体化」と現代のグローバル化の共通点と相違点を見出す。 	<p>指導事項</p> <p>1 結びつく世界</p> <p>2. ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出</p>	<p>課題 (ヨーロッパ人の海外進出の航路の地図への記入) リアクションペーパー 考査 グループ協議 (「世界の一体化」とグローバル化の比較)</p>	○	○	○	4
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国が重商主義政策によって経済を発展させたことを理解する。 ・大西洋三角貿易を展開したイギリスが技術革新へと向かったことを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによってヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命を単に技術革新としておらえるのではなく、国内外にもたらした様々な変化を注視する。 	<p>2 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立</p> <p>1. ヨーロッパ経済の動向と産業革命</p>	<p>リアクションペーパー 考査 グループ協議 (産業革命による社会の変化)</p>	○	○	○	4
定期考査						

1 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解する。 ・ナポレオン戦争によるヨーロッパにおける変化を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ独立革命がその後の世界に与えた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふたつの革命の歴史的意義を見出す。 	2. アメリカ独立革命とフランス革命	(アメリカ独立革命とフランス革命の歴史的意義) 考査 グループ協議 (フランス革命の犠牲と成果)	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン会議の内容とウィーン体制の特徴について理解する。 ・ウィーン体制と自由主義やナショナリズムが目指したものが対立している構造を理解する。 ・フランスの第二帝政やイギリスの自由貿易体制の成立を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会主義が生み出された背景について、具体的な人物などをあげながら考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制によってフランス革命以前に戻そうとする試みが、民衆の反発によって崩れていった点を見出す。 ・ドイツとイタリアの統一運動が失敗に終わった要因を見出す。 	3. 19世紀前半のヨーロッパ	考査 グループ協議 (資本主義と社会主義の対比)	○	○	○	3
	定期考査						
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリミア戦争の経過とその重要性と英仏の対外政策を国内状況とあわせて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビスマルク外交の基本方針がどのように外交関係に反映されたか考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の国家につながるイタリアやドイツの統一が、ヨーロッパのパワーバランスにどのような影響を与えたのかを検討する。 ・ドイツとイタリアの統一国家の形成について理解する。 	4. 19世紀後半のヨーロッパ	レポート (19世紀の文化・科学と社会の変容) リアクションペーパー 考査 グループ協議 (ドイツ統一がヨーロッパに与えた影響)	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解する。 ・開国を転換点として、江戸幕府と朝廷・諸大名の関係に変化が生じたことを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太平天国の乱後の中国における改革とその限界について考察する。 ・開国によって世界と結びついたことによる江戸幕府や諸藩における知識・技術の受容と、日本と欧米諸国とのあいだの貿易の特徴を考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開国後の欧米列強との貿易における中国と日本の輸出入品から、共通点や相違点を見出す。 ・幕末の動乱と欧米諸国との関係について、事件を整理しながら追究する。 	7. 中国の開港と日本の開国	レポート (日本の開国と国際社会の動向) リアクションペーパー 考査 グループ協議 (中国と日本の輸出入品の比較)	○	○	○	3

<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治新政府が、諸外国と具体的にどのような関係を築こうとしたかをまとめる。 ・隣国である清・朝鮮と結んだ外交関係を理解する。 ・日本人の海外渡航がおこなわれた社会的な背景を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本が導入した欧米からの新技術について具体的に考察する。 ・清・朝鮮・ロシアとの国境について、史料や地図をもとに考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩倉使節団が、具体的にどのような国々を訪問し、何を視察して帰国したのか調べ、協議し、追究する。 ・条約や条規の内容をもとに、日本の領土画定の経緯とその課題について調べ、追究する。 	<p>3 明治維新と日本の立憲体制</p> <p>2. 明治初期の対外関係</p>	<p>グループ協議 (岩倉使節団の歴史的意義について) リアクションペーパー 考查</p>	○	○	○	3
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の条約改正の展開が、清を中心とした東アジアの国際関係にどのような影響を与えたのか理解する。 ・日清戦争の原因・過程・結果を年表にまとめる。 ・日清戦争後に政府が軍備拡張と産業育成を進めるにあたり、政党がどのように対応したかを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本が、朝鮮・清に対してどのような過程を経て条約を締結したかを表現する。 ・条約改正の背景や要因について、多面的・多角的に考察する。 ・日清戦争後の、政府と政党の動きについてその推移を考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山県有朋首相の演説や「脱亜論」の史料を読み、その内容を比較して、相違点や共通点を具体的に追究する。 ・日清戦争の原因・過程・結果を考察し、その後の日本の台湾・朝鮮の統治について追究する。 	<p>4 帝国主義の展開とアジア</p> <p>1. 条約改正と日清戦争</p>	<p>発表 (山県有朋の演説「脱亜論」の内容について) リアクションペーパー 考查</p>	○	○	○	4
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列強が中国に進出したことに対して、中国の人々はどのように対応したかを理解する。 ・日露戦争がおきた背景・過程・結果を年表にまとめる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国で列強の権益獲得の動きが活発化したことで発生した民衆の動きを表現する。 ・清朝の滅亡と中華民国の成立について、原因と辛亥革命の過程をまとめて考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争の結果、日本国内や周辺地域(朝鮮・満洲)にどのような影響をおよぼしたか、多面的に追究する。 ・インド・東南アジアの民族運動、西アジアの革命について、その動向を追究する。 	<p>5. 日露戦争とその影響</p>	<p>グループ協議 (清から中華民国成立の過程について) リアクションペーパー 考查</p>	○	○	○	4
<p>定期考查</p>						
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦によって成立した総 						

2 学 期	<p>力戦体制と、その影響による社会の変化を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二十一カ条の要求に対する日中両国の動きを理解する。 ・ロシア革命に対する内戦の構造と、日本がシベリア出兵をおこなったねらいを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察する。 ・戦時外交とアメリカの参戦が戦争の展開にあたえた影響を考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究する。 ・資料を活用し、シベリア出兵の進路からその意図を見出す。 	<p>5 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>1. 第一次世界大戦とロシア革命</p>	<p>レポート（対ソ干渉戦争とシベリア出兵） リアクションペーパー 考査 グループ協議 （ロシア革命が国際社会に与えた衝撃）</p>	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか年表にまとめる。 ・ドイツの台頭によって、イタリアがどのような政策を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス・スペインで成立した人民戦線政府を比較し、その後の動きを表現する。 ・ソ連の体制はファシズム体制はどのような点で類似していたかを考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツの拡張政策に対して、ヨーロッパ諸国はどのように対応していたのかを追究する。 ・ドイツとソ連が独ソ不可侵条約を締結するにいたる過程を追究する。 	<p>6 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>2. ファシズムの台頭</p>	<p>発表（ドイツの人々がナチス政権に対して、熱狂した理由） 考査</p>	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかをみる。 ・国内の人びとの生活や、中国・朝鮮から動員された人びとの生活がどうであったか理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現する。 ・日米の主要物資の生産高を比較して、日米の差がどのくらいあったのかを考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議について時系列にその内容を追究しようとしている。 ・第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるかその嚆矢について追究しようとしている。 	<p>5. 第二次世界大戦と太平洋戦争</p>	<p>グループ協議 （日本の敗北の過程について） リアクションペーパー 考査</p>	○	○	○	4
	<p>定期考査</p>			○	○	○	
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合国は、どのような面で日本の民主化を進めていったのか理解する。 ・戦後の日本の改革を年表にまとめる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の制定の過程を考察し、 			○	○	○	

<p>どのような手続きを経て公布、施行されたかを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法を読み、大日本帝国憲法と比較して、どのような点が変わったのか、変わった理由について考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済の民主化、労働運動の進展、農地改革を多面的・多角的に考察し、戦後処理のあり方を理解し、追究する。 ・日本の復興の実態とそれにとりもなう政策について追究する。 	<p>3. 占領下の日本と民主化</p>	<p>発表（教育の民主化の内容について） リアクションペーパー 考察</p>	○	○	○	3
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解する。 ・核兵器の独占がソ連に破られたことによりアメリカ社会が受けた衝撃を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワルシャワ条約機構が結成された背景と、その影響について考察する。 ・核兵器開発競争の過熱化が国際連合の下で、原子力発電の開発の本格化につながったことを考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図を活用し、西側陣営・東側陣営が構築した防衛体制とおもな紛争地点から、その意図を見出す。 ・グラフから米ソの核開発競争の過熱化について見出す。 	<p>8 冷戦と世界経済</p> <p>1. 集団防衛体制と核開発</p>	<p>リアクションペーパー 考察 グループ協議（核開発競争の転換期）</p>	○	○	○	5
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長の契機を理解し、欧米を上まわる経済成長が実現した要因についてまとめる。 ・高度経済成長のメカニズムを整理し、日本の産業構造の変化を理解したうえで、農業の近代化についてまとめる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長を支えた貿易黒字について、その推移を理解し、国際競争力を強めることのできた要因を考察する。 ・社会の変貌について、日本の食生活の変化を品目別に比較して考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな生活を求めて消費が拡大していくことについて、その要因を多角的に追究しようとしている。 ・高度経済成長のひずみについて、地方の過疎化、都市の過密化の課題を理解し、その課題への対応や解決について追究しようとしている。 	<p>6. 日本の高度経済成長</p>	<p>レポート （公害問題の実態とその解決について） リアクションペーパー 考察</p>	○	○	○	5
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルバチョフによるソ連の社会主義体制の改革「ペレストロイカ」の取り組みを理解する。 ・地域統合や自由貿易圏の設立とともに、世界規模での貿易を促進するWTOの役割を理解する。 						

<p>【思考力、判断力、表現力等】 ・共産党一党支配と連邦制がどのようにソ連邦の崩壊に結びついたのかを考察する。 ・ユーゴスラヴィア紛争の背景にある宗教・民族分布の複雑さを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ユーゴスラヴィア紛争における国際社会の関わり方について追究する。 ・経済を軸とした地域統合によって目指した未来像が、今日の世界経済とどのように重なっているのかを見出す。</p>	<p>9 グローバル化する世界 2. ソ連の崩壊と経済のグローバル化</p>	<p>課題（旧ソ連の国々を地図で塗る） リアクションペーパー 考査 グループ協議 （ユーゴスラヴィア紛争の背景）</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>【知識及び技能】 ・1993年のオスロ合意がパレスチナ問題において歴史的なものであったことを理解する。 ・アメリカの中東政策に対する反発から、イスラーム過激派によって同時多発テロ事件がおこされたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アフガニスタン戦争がそれまでの戦争とは異なる点を考察する。 ・イラク戦争の問題点について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・パレスチナ自治区において分離壁が築かれ、ユダヤ人入植地が拡大していることの問題点を見出す。 ・長期化したシリア内戦において生じた500万人以上の国外難民とその受け入れをめぐる問題を追究する。</p>	<p>4. 地域紛争の激化</p>	<p>プレゼンテーション （同時多発テロ事件後の世界） リアクションペーパー 考査 グループ協議 （イラク戦争とシリア内戦における国際社会の影響）</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>定期考査</p>				
<p>【知識及び技能】 ・グローバル化のなかで福祉国家体制のなかから、新たに登場した新自由主義について理解する。 ・経済格差などの課題に対してどのように対応していけばよいかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間のもつ基本的な人権を理解し、男女の平等、男女差別とは異なる性的差別の問題にも着目して、どのように対応していけばよいかを追究する。</p>	<p>10 現代の課題 1. 現代世界の諸課題</p>	<p>レポート （自然環境問題を、持続可能な開発という観点からどう取り組むかについて） リアクションペーパー 考査</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>2 合計 70</p>